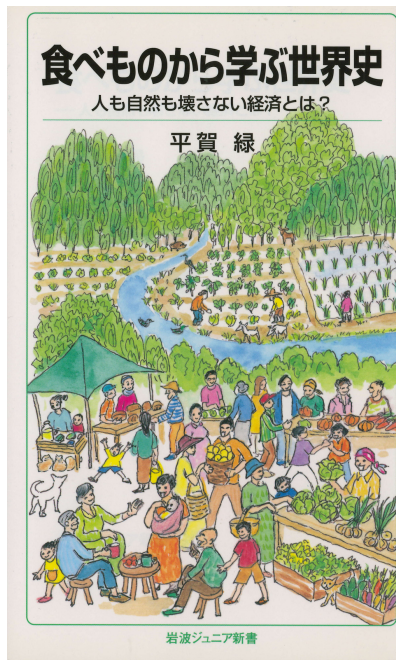


# 平賀緑先生と食べものから考える 経済・社会の交流会

「自由」貿易とは、  
誰にとっての「自由」  
なのだろう？

アメリカで最大の農地所有者は、  
なんでビル・ゲイツやCNNのテッド・ターナー？

実際の小麦の供給はまだ滞ってなかった  
ウクライナ戦争開始翌日に小麦価格が高騰したのはなぜ？



日本まで船や飛行機で輸送してきたはずの外国産のかぼちゃのほうか、なんで国産のかぼちゃより安い？

それまで自給自足してたメキシコの農民が「緑の革命」によって出稼ぎ労働者になっちゃうのはどうして？

↑本の中で取り上げられてる問いの一部を吹き出しにしました

高校では『学習指導要領』が改訂されてカリキュラムの移行期にあります。多くの中学高校の教員は、科目の内容構成をしている状況だと思います。丹波の農や香港の金融街での経験を持つ平賀緑先生と膝を交えての交流会を企画しました。食べものを通して、生活者の視点で考えることで、地理・政治・経済・歴史や国語、家庭科、総合など教科横断的なカリキュラムが立ち上がってきます。全国のみなさんと学校づくりや授業づくりを語り合いたいと思っています。教科を問わず気軽にご参加ください。

2024年 8 月 2 日 【金】

Hiraga Midori  
平賀 緑 先生



京都橘大学 経済学部 准教授

国際基督教大学卒業後、香港中文大学へ留学。新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・農・環境問題に取り組む市民活動を企画運営した。ロンドン市立大学修士（食料栄養政策）、京都大学博士（経済学）。著書に『食べものから学ぶ現代社会—私たちが動かす資本主義のカラクリ』（岩波ジュニア新書、2024年）、『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは？』（岩波ジュニア新書、2021年）、『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』（昭和堂、2019年）。

時 間 18:00～20:00

参加費 1,000円（簡単な夕食と飲み物つき）

定 員 20名前後（事前申込）

会 場 大阪商業大学 大教室

申 込 右のQRコードより申し込みください

